

令和6年12月11日

令和6年度第9回理事会議事録

日 時：令和6年12月11日（水）

第9回理事会 18時30分～20時40分

会 場：オンライン会議室（ZOOM使用）

出席者：中川理事長、射場副理事長、井阪副理事長、本田理事、中野理事、工藤理事、鈴木理事、都留理事、千葉監事、安積局長、早瀬局長、田籠局長、辻岡局長、高尾部長、総務部中平・藤原

欠席者：實光理事

書 記：中平

令和6年度第9回理事会議題

（1）承認事項

ア 令和6年度第8回理事会議事録

資料参照の上、承認された。

（2）報告事項

ア 各局事業進捗報告

本田理事（事務局）より、総務部、財務部の進捗状況について資料に基づいて報告があった。総務部は公文書発行が委嘱状22件、お礼状報告書4件であったこと、財務部は36回学術大会及び研修集会事業の財務処理を行ったこと、各部の予算案の取りまとめ、各部の財務管理を行ったことが報告された。

安積局長（情報管理局）より、情報管理局の進捗状況について資料に基づいて報告があった。SM部はセンターホームページの管理運営を行い、研修会・学会の広報、センター主催研修会の広報を実施していることが報告された。ニュース編集部は府士会ニュース307号の取りまとめ、12月センター主催研修会情報のプッシュ通知の実施、ニュース発行に向けた事前会議を実施したことが報告された。SE部は大阪学会のサポートを行ったことが報告された。

鈴木理事より、令和7年1月創刊予定のニュース「おおさかPT学びの道しるべ」について質問があり、原稿締め切りは2024年12月20日であること、それ以降の投稿は2月発刊分になることが確認された。

田籠局長（生涯学習局）より、生涯学習局の進捗状況について資料に基づいて報告があった。研修事業は11月開催分のセンター主催研修会の参加者数の報告があった。また2025年度センター主催研修会の開催計画を行ったことが報告された。研修集会は、第7回生涯学習研修会の企画内容について報告された。受託研修部は2024年度下半期理学療法士講習会の8件中2件が終了したこと、2025年PT協会助成金事業が決定したこと、2025年度上半期理学療法士講習会の募集が終了したことが報告された。認定カリキュラムは、今年度のカリキュラムが終了したことが報告された。学術誌編集部は「総合理学療法学」について論文査読・審査・修正中が7件であることが報告された。

辻岡局長（教育局）より教育局の進捗状況について資料に基づいて報告があった。学術大会部は第37回大会の準備が予定通り順調に経過していること、第38回大会の準備委員長が決定したことが報告された。臨床実習教育部は、臨床実習指導者講習会開催に向けた準備、実習前OSCEについて会議を開催したこと、Master講習会の準備を進めていることが報告された。研修理学療法教育部は、新人症例発表会の登録演題数や後期研修の開催終了等について報告

された。

イ 第36回大阪府理学療法学会 収支報告書について
都留理事より前回の理事会において、収支報告書の収入の部に誤りがあることが指摘されたことについて、修正点として収入の部の項目に「拠出金」と「学会大会費」と記載すること、収入の部の合計金額は変更が無いことが報告された。井阪副理事長より、既に大阪府に提出済であれば差し替えることが必要であることが指摘され、都留理事より準備委員に確認の後、差し替え手続きを行うとの返答があった。

ウ 令和7年度 臨床認定カリキュラム講習会について
鈴木理事より、11月の理事会において令和7年度の臨床認定カリキュラムを1領域追加し、計3領域の開催を予定すると報告したが、日本理学療法士協会へ手続きが9月末で終了していることが判明し、次年度の実現が不可能であることが報告された。次年度は、現在の運動器、循環器の2領域とし、新領域「臨床教育」は準備期間とすることが提案された。意見や確認事項は無かった為、報告通りの内容で進めることとなった。

エ 能登半島地震における石川県士会への義捐金について
井阪副理事長より大阪府理学療法士会と大阪府理学療法士会生涯学習センターより石川県理学療法士会に義捐金をお渡ししたことが報告された。総額は170万円、内20%の34万円をセンターから支出(10月29日付)したことが報告された。

オ 賛助企業制度について
本田理事より、OG・酒井・ミナトの3社と3回の意見交換会し双方のメリット、今後の関係性のあり方等を含め「賛助規程_1」を作成し、各企業に審議を仰いだ結果、特にご指摘事項は無かったことが報告された。規定文書の内容として、第3条「特典・優待の内容等は定期的(大阪府理学療法学会の会期等に合わせ)に意見交換会を実施する」と標記されたことが報告された。また追記として(優待)(1)学会協賛金の30%引きの文面を「飲食を伴わない」企業セミナーとする案が報告された。鈴木理事から質問があり、ランチョンセミナーを開催する場合、お弁当代に割引は適用せず、費用は企業側が負担することになる旨が確認された。特に反対意見や確認事項は無く一同賛成となった。中川理事長より、企業は一般会員と交流が出来る場を要望していることが補足説明された。また、本規定の運用開始に先駆けて2025年3月にセンター執行部役員、部長、部員との交流会を計画されていることが報告された。

(3) 審議事項

ア 近畿学会大会長の選出方法について
都留理事より、近畿学会大会長の選出方法について報告があった。中川理事長より、「理事会」とはセンターの理事会と士会の理事会のどちらを指しているのかが不明であること、いずれか一方の理事会であるのは問題があるため、すべて「合同会議」で決議をする内容に変更する必要が指摘された。また(5)について、投票で獲得した票が同数であった場合、理事長が決定するという事は難しいとの意見があった。工藤理事より、同数の場合は「獲得ポイントが高い方とする」という案が提示され、全員が賛成した。また中川理事長より、(6)は削除して良いのではないかとのご指摘があった。以上の内容について、全員の賛成が得られ、承認された。

イ 第36回大阪府理学療法学会 優秀演題賞および学術賞(奨励賞)推薦候補者について
都留理事より、受賞演題名、受賞者の推薦候補者が報告され、全員一致で賛成となり承認された。

ウ 令和7年度予算案について

井阪副理事長より、継続審議が必要であるため、今回の提議を取り下げる旨が報告された。

エ 雑誌「総合理学療法学」冊子体作成について

鈴木理事より、今年度より雑誌「総合理学療法学」の冊子体の印刷作成を廃止して、電子化することを検討している。ただし、学術編集部から著者用と記録保管用に数冊分は冊子体として作成したいとの要望があることが報告された。井阪副理事長より、経費削減としては大変有難い提案であると意見があった。中川理事長より、一気にペーパーレス化にならなくても良いので、段階的に進め最終的には完全ペーパーレスにすることで賛成との意見があった。以上について、全員一致で賛成となり承認された。

オ 役員及び部員に係る諸謝金の支給について

井阪副理事長より、府士会事務局と討議し令和7年度はオンライン会議の増額は据え置き、学会・研修会・講習会等の運営に携わる役員及び部員に対して謝金を支給することを先行して開始することで合意したことが報告された。また、センター各部局の活動状況を聴取した結果、令和7年度は約300万(税込)を見込んでいることが報告された。中川理事長より、この案を実行するにあたり会議費の制限が生じるのではないかと確認があった。井阪副理事長より、会議費が支給される対象が4回目までという制限で試算していると説明された。各部の理事、局長から意見を聴取した結果、部の活動状況は特徴が異なる為、一律な判断は難しいという意見が多かった。また会議として打ち合わせや検討を行う場合とオンラインツールを駆使して部内で日常的に活動を行うことの区別が難しいことも意見として挙げられた。井阪副理事長から、当日現場で運営として動いてくれる人に謝金を支給することから始めたいとの意見があった。中川理事長より、案には賛成である上で、当日の運営の業務が主ではない部に対しても、年1回でも良いので謝礼を支給するという案を考慮してもらいたいとの意見があった。以上の内容について、全員一致で賛成となり承認された。

カ 2025年度 大阪府理学療法士会 理学療法士講習会(上半期) について

中野理事より、2025年度の大阪府理学療法士会理学療法士講習会(上半期)について、11件(継続8件、新規3件)の応募があったことが報告された。受託研修部(講習会担当)で内容を確認し、いずれも問題はないことが報告された。また、オンライン形式が主流となり、対面のみに制限すると激減することが予測されとの意見があった。鈴木理事から、オンライン形式の方が集客が多いことは明白であり、今後もオンラインの需要は高いことが予測され、継続する必要があることが示唆された。またオンラインであっても質が担保されているかの確認があったが、中野理事より、毎回のアンケート実施、講師にフィードバックすることを実施できていることが説明された。以上の内容について、全員一致で賛成となり承認された。

キ 賛助企業広告作成規程

本田理事より、賛助企業が作成する配布される資料および講習会等の幕間に表示される広告、当センターホームページ掲載のバナー、当センター発行のニュースへの掲載記事を対象に規程した内容について報告があった。鈴木理事より、動画広告とは何を意味するのかと確認があり、本田理事より研修会の休憩時間等に映写するものであることが説明された。この点を分かりやすく記載する必要性が示唆された。以上の内容について、全員一致で賛成となり承認された。

ク 生涯学習センター主催研修会の開催計画について

工藤理事より、令和7年度のセンター主催研修会の開催計画について、報告があった。中

川理事長より内容については賛成であること、その上で、改めて講師選定の基準を明確にしておくことのご指摘があり、専門、認定の資格が条件であることが再度確認された。以上の内容について、全員一致で賛成となり承認された。

ケ 研修集会講師について

工藤理事より、第7回研修集会の講師選定の追加、修正について報告があった。テーピング材料費の費用は受講生が負担することを原則とすること、また会場費について確認が行われ、関西医科大学は無料であること、森ノ宮医療大学も昨年同様であることが報告された。以上の内容について、全員一致で賛成となり承認された。

コ 賛助企業とのマッチングページ作成のための SE 部兼任依頼

本田理事より、賛助企業と会員とのマッチングを推進するためホームページの作成、変更を予定しており、SE 部（辻畑部長）に兼任を依頼したいことの報告があった。全員一致で賛成となり承認された

サ 令和7年度前期開催市区町村士会主催研修会について

工藤理事より、令和7年度前期開催の市区町村士会主催研修会について、34件の申請を受理したことの報告があり、全員一致で賛成となり承認された

4 その他

・令和7年度事業収支予算について

井阪副理事長より、令和7年度の事業収支予算について、別紙を参照して説明があった。本理事会で審議された役員及び部員に係る諸謝金の支給の案や、研修集会の会場費が軽減されたことを反映することが確認された。また懸念材料として学術大会の賃借料が増額となっている点などが報告された。千葉監事から、計画通りに実行されている事業がほとんどであるので現状に見合った予算と支出になっているとの意見があった。井阪理事より、最終案を検討し、次回の理事会に諮ることが報告された。

・事務所移転について

本田理事より、新事務所の内装イメージ図が提示された。射場副理事長より、事務員さんのデスクがあるスペースが中央の区分であることについて、外窓（採光のある側）である奥の区分が良いのではないかという意見が挙げられた。本田理事より、実際には奥の区分もあまり採光は無いこと、来客時の対応が迅速に出来るためには、原案である中央の区分が良いとの考えが説明され、全員の賛成が得られた。

以上